

新会長に外瀬副会長

フローリング協会

フローリング協会は、第2期定時総会を静岡県熱海市の後楽園ホテルで開いた。小黒邦雄代表理事・会長の勇退に伴い、後任に外瀬泰宏理事・副会長を選任した。



外瀬新会長は「小黒会長の方針を引き継ぎ、業界の発展に注力していきたい」と抱負を述べるとともに、「フローリングによる事故が起きた。その対処を真剣に考えなければならぬ。メンテナンス指導者を施設に入れさせてもらおうといった指針を作ることをしていきたい」と話した。写真。

小黒前会長は、2期4年間会長を務め、一般社団法人フローリング協会の設立に尽力するとともに、フローリングの認知度の向上に努めた。退任に当たり小黒前会長は、事業の推進に対する協力に感謝の意を表するとともに、「事業を進めるには、企業も団体も資金が必要だ。わたしが会長の間は会費の値上げをしないと決めたが、若干の値上げも必要だ。ぜひ理解していただきたい」と述べる。とともに、会員の増強、日本フローリング工業会や技能士会など関係団体、他団体との連携の必要性を訴えた。